

淀江町合併50年

昭和30年9月1日、旧淀江町、高麗村、今津、宇田川村、大和村の3町村1地区が合併し、淀江町が誕生しました。そして、今年で合併50年目を迎え、平成17年3月31日の米子市・淀江町の合併を目前にひとつの節目を迎えました。

240名が出席し
淀江町50年を祝う

淀江町が合併をして50年目を迎え、11月10日(水)、町文化センターさなめホールで町合併50年記念式典を行いました。

式典には、鳥取県平井副知事をはじめ多数の来賓の方々、町内表彰者など総勢約240名が出席し、郷土の発展を祝いました。そして、自治・民生・産業・建設・教育の各分野ごとでまちづくりに多大に貢献があった141名と14団体に表彰状が贈られました。また、当日は淀江町が交流している韓国高城郡、北海道新冠町、沖縄県読谷村からお祝いにかけつけてくださいました。



淀江町50年を記念して式辞を行う田口町長

田口町長は「町の発展に貢献された皆さんに感謝と敬意を表します。明治22年に淀江町が誕生し、昭和30年に合併して現在の淀江町となりました。昔から淀江町は政治・文化・交通のかなめとして位置づけられていました。先輩方の築かれた成果を、文化資産を、今ある大切な環境を子孫に伝えることが私たちの務めです。わが町淀江は不滅です。そして、新たな淀江の始まりです。今後も一層、淀江の発展のためにお力を貸していただきたい」と式辞を述べました。

先人が築いたものを
次世代に伝える



自治部門により表彰された野口軍治さん

淀江名物淀江音頭
壁ぬりさんこを披露



表彰者代表謝辞を行う斉藤優さん



ミニ踊り傘で踊る3保育園5歳児の子どもたち

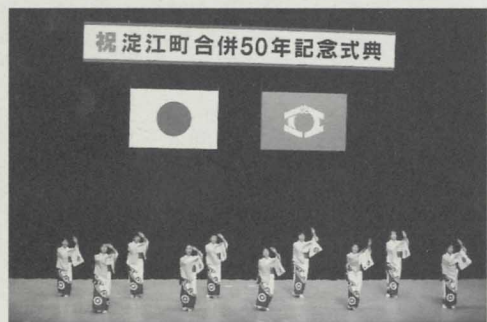
式典に引き続き、アトラクションの部として、淀江傘踊り同好会の皆さんによる「淀江音頭の手踊り」、淀江さんこ節保存会による「壁ぬりさんこ」、そして淀江・宇田川・大和3保育園児によるミニ傘を使つての傘踊りを披露し、会場に花を添えました。



当日は79名の園児が参加しました



さんこ節保存会による壁ぬりさんこ



淀江傘踊り同好会による淀江音頭手踊り